
遠吠え??

りきてっくす

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遠吠え??

【Nコード】

N60180

【作者名】

りきてつくす

【あらすじ】

以前ミクシイにアップした詩を二編と、さっき思いついた詩を一編、投稿してみました。

『ある夏の別れ』

シロップかけた夏氷 思い出もろともかき混ぜる

白いチエアーに身をもたせ 「仕方がないさ」と海を見た

波が轟き押し寄せる

ざざん すざざざ ちりちりちり――

泡沫 砂に吸い込まれ

ざざん すざざざ ちりちりちり――

目を細めて 炎夏を仰いだ

娘が あした発つ……

絵の具乾くを待ちわびて 幼い面影焼きつける

群れたカモメがなき叫ぶ 「悲しいですか？」とあざ笑う

潮のにおいが鼻をつく

ざざん すざざざ ちりちりちり――

思い出 砂に吸い込まれ

ざざん すざざざ ちりちりちり――

目を逸らして 絵筆を洗った

娘が あした発つ……

『遠吠え――』

凍えつくよな宵の口　玄関先に降り積もる　雪をほうきで掃いてたら
どこからともなく遠吠えの
枯れはてるよな、遠吠えの――

白い息は高々と　天に上つて霧散する　星のまにまに吸い込まれる

それでも悲しい遠吠えの
むせび泣くよな、遠吠えの――

ああ、諧謔を弄するか細き声よ
さりながら気高き声よ
声のかぎり、力のかぎり
今夜、泣け、わめけ
そして笑え……

哀切きわめしその果てに
諦念さとするは、げに珠玉の瓦礫あるがごとし

『紅い服の女の子』

仏壇の奥で光ってる、
阿弥陀さまは知らん顔
それをソファの肘掛けに、
頬杖ついて眺めてる

――紅い服きた女の子
――紅い服きた女の子

大きなあくびのその奥に

門歯、犬歯、後臼歯

お菓子をあげよう

いらないわ

オモチャをあげよう

いらないわ

夢はあるかい？

ほしくない

私は、ただ――

うつらうつら、していたいだけ……

(後書き)

ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6018o/>

遠吠え??

2010年10月31日03時52分発行